

平成 26 年度 八王子市子ども家庭部 事業概要

- I 子ども家庭部の組織・・・・・・・・・・・・ P. 1
- II 各課の概要
 - 子どものしあわせ課・・・・・・・・・・・・ P. 2
 - 保育対策課・・・・・・・・・・・・ P. 4
 - 保育幼稚園課・・・・・・・・・・・・ P. 4
 - 子育て支援課・・・・・・・・・・・・ P. 7
 - 児童青少年課・・・・・・・・・・・・ P. 8
 - 子ども家庭支援センター・・・・・・・・ P. 9
- III 参考・・・・・・・・・・・・ P. 10



I 子ども家庭部の組織

子ども家庭部 (平成26年10月1日現在の職員定数)

(子ども家庭部長1名)

子どものしあわせ課 (課長1名、職員6名)

- ・子ども・子育て支援に係る総合的な企画及び調整担当
- ・部庶務担当

保育対策課 (課長1名、職員3名)

- ・待機児童解消・新制度担当

保育幼稚園課 (課長1名、職員31名)

- ・総務・保育料徴収担当
- ・保育所入所担当
- ・民間保育所・幼稚園支援担当
- ・公立保育所運営担当

公立保育園10園 ※指定管理6園 (職員146名、再任用2名)

子育て支援課 (課長1名、職員24名、任期付5名、再任用3名)

- ・庶務・給付担当
- ・児童手当・マル乳・マル子担当
- ・ひとり親担当
- ・貸付・ホームヘルプ担当
- ・母子自立支援担当
- ・ファミリー・サポート・センター
- ・八王子駅南口総合事務所子ども担当

児童青少年課 (課長1名、職員13名、再任用1名)

- ・青少年・庶務担当
- ・児童館担当
- ・学童保育所担当 ※指定管理68学童保育所

児童館10館・分館2館 (職員27名、再任用6名)

子ども家庭支援センター (課長1名、職員9名、課付1名)

- ・庶務担当
- ・相談担当
- ・企画担当

地域子ども家庭支援センター5館 (職員16名)

Ⅱ 各課の概要

子どものしあわせ課

1 概要

子ども・子育て支援に係る総合的な企画・調整を行う。また、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備するため、保育園・幼稚園・小学校連携の推進や、企業と連携した身近な場所での子育て支援、子育て施策の情報発信を行う。

2 主な事業

(1) 子ども・子育て支援に関わる基本的な計画の策定・推進

- ・子ども・子育て施策について幅広く審議を行う「子ども・子育て支援審議会」の開催及び「子ども・子育て支援事業計画」の策定
- ・「こども育成計画」進行管理及び次期「子ども育成計画」の策定

(2) 子ども・子育て支援の環境づくり

①保・幼・小連携の推進

子どもの育ちをつなぐため、保育園・幼稚園・小学校などの関係機関の連携を「保・幼・小子育て連絡協議会」により促進。「就学支援シート」を活用し、配慮が必要な子どもへの継続的な個別支援を確保する。

【「就学支援シート」利用件数（小学校に提出された数）】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用数	162	210	195	282	366

②「子育て応援企業」の登録促進

子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を登録し市民へPRする、本市独自の制度。

【登録企業数（累計）】 162事業所（90法人）（平成26年9月1日現在）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業所数	130	152	157	150	158
団体数	59	73	78	79	86

③「赤ちゃん・ふらっと」の設置促進

赤ちゃんと一緒に安心して外出できる環境を整備するため、授乳やおむつ替え、ミルクがつけられる場所を設置する。商業施設等に対し、設置費用の一定割合を補助。

【設置数】79か所（平成26年9月1日現在）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
補助による 設置施設	商業施設 6	商業施設 5	商業施設 1 医療施設 1	商業施設 2	医療施設 1
公共施設	8	11	4	3	3
市内設置数合計	37	49	61	66	76

④子育てガイドブックの作成 13,000部

子育て支援サービスをまとめ、妊娠届提出時や転入時、子育てひろば等で配布。

⑤「子ども支援スキルアップ研修」の実施

支援が必要な子どもや家庭を適切な相談窓口につなげるとともに、関係機関との連携を行うスキルの向上を図るための独自研修。

【子ども支援ワーカー取得者数】

子ども支援ワーカー1級 7名・2級 43名（平成26年8月末日現在）

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	合計
1級	—	—	—	8	—	△1(退職)	7
2級	1	1	1	—	10	30	43

保育対策課

1 概要

待機児童の解消をはじめ、子ども・子育て支援新制度に基づく教育保育施策を推進する。

2 主な事業

(1) 待機児童の解消

民間保育所の施設整備費用の一部を補助し、安全な保育環境の確保と待機児童の解消を図る。

(2) 子ども・子育て支援新制度への対応

子ども・子育て支援新制度の円滑な実施に向けて、保育所等施設への入所基準や、施設の設備・運営等の基準づくりを行う。

保育幼稚園課

1 概要

就労等の理由により家庭で保育できない保護者に対し、認可保育所や認証保育所などによる多様な保育サービスを提供するとともに、在宅子育て家庭や幼児教育への支援を実施する。

2 主な事業

(1) 市立保育所の管理運営

市立保育所のうち 10 園を直接運営し、民間保育所では十分に担うことが難しい保育事業を実施するとともに、在宅子育て家庭への支援や要保護児童の見守りを実施する。

また、その他の市立保育所 6 園に指定管理者を導入し、保育の質を確保しつつ運営の効率化を図る。

(2) 保育サービスの充実

市が保護者の状況に基づき入所者を決定する認可保育所をはじめ、認証保育所や認定こども園、家庭福祉員の運営・支援を行うとともに、保護者の就労形態に合わせた、延長保育・定期利用保育などの多様な保育サービスを実施する。

【保育所等の施設数】（各年 4 月）

区分		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
認可保育所	民間	68	68	70	73	75
	公立	16	16	16	16	16
認証保育所		11	12	12	12	12
認定こども園		2	2	2	3	3
家庭福祉員		20	20	20	24	23

【一時保育等の実施施設数】（各年4月）

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
一時保育	13	14	17	21	23
緊急保育	10	17	17	24	24
定期利用保育		3	11	14	14
病児・病後児保育施設	3	3	3	3	※ 3

※ 平成26年度新規開設施設含む

(3) 幼児教育の充実

幼稚園に通う保護者の経済的な負担軽減や幼稚園への補助により幼児教育の充実を推進

【幼稚園数と在園児童数】（各年5月）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
園数	32 (1園休園)	32 (1園休園)	31	31	31
在園児童数 (市外園含む)	7,410	7,501	7,541	7,561	7,253

(4) 障害児等発達支援

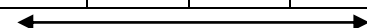
保育園・幼稚園の在園児で発達の遅れが心配される子どもに対し、臨床心理士等を派遣し、保育士及び保護者を支援する。

【巡回発達相談の推移】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
回数	164	262	175	260	276

【保育サービス定員の推移】（各年4月）

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
認可保育所	8,658	8,712	8,812	8,825	8,993	9,161	9,282	9,425	9,692	9,877
保育室	10									
家庭福祉員	20	34	43	44	44	53	56	56	66	65
認証保育所	148	160	166	177	207	307	357	394	403	410
認定こども園				62	121	121	176	238	325	325
定期利用保育							6	30	48	49
合計	8,836	8,906	9,021	9,108	9,365	9,642	9,877	10,143	10,534	10,726
増減(対前年)	0	70	115	87	257	277	235	266	391	192



保育サービス定員 1,084 人増

【保育所待機児童数等の推移】（各年4月）

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
就学前児童数	27,799	27,390	27,133	27,329	27,408	27,514	27,449	27,236	27,107	26,351
入所申込児童数	9,360	9,395	9,552	9,589	9,903	10,076	10,225	10,299	10,447	10,679
在籍児童数	8,847	8,907	9,032	9,073	9,237	9,355	9,501	9,685	9,975	10,211
待機児童数	288	320	336	331	453	496	468	375	253	231

平成14年以降最少
 ← 在籍児童数 856人増
 待機児童数 265人減 →

平成25年度は、認可保育所2園の新設と4園の増改築及び既存の認可・認証保育所の定員変更等により、26年4月1日の定員は、前年に比べ192名増の10,726名となった。

入所申込児童は依然として増加しているが、待機児童数は、前年から22人減の231人となった。

子育て支援課

1 概要

児童手当などの支給や医療費助成により、子育て家庭の経済的な負担軽減を図るとともに、ひとり親家庭の自立を支援する。

2 主な事業

(1) 子どもや家庭への手当・医療費助成 (平成26年4月20日現在)

【手当】

名称	対象	受給児童数(人)
児童手当	中学3年生までの児童	65,927
児童扶養手当	18歳まで※の児童がいるひとり親家庭等	5,087
児童育成手当	18歳まで※の児童がいるひとり親家庭等	8,936

【医療費助成】

名称	対象	対象者数(人)
乳幼児医療費助成	6歳就学前までの児童	29,014
義務教育就学児医療費助成	小学1年から中学3年までの児童	36,680
ひとり親家庭医療費助成	18歳まで※の児童がいるひとり親家庭等	7,469

※児童に障害がある場合は、20歳未満まで。

(2) ひとり親家庭の自立支援 (平成25年度実績)

- ・母子自立支援員による相談 2,491件
- ・ホームヘルパー派遣による日常生活支援 1,296回
- ・資格取得の支援 (教育訓練給付金9人・高等技能訓練促進費35人)
- ・母子福祉資金の貸付 186件

(3) ファミリー・サポート・センターの運営 (平成26年3月31日現在)

依頼会員数 1,955人・提供会員数 625人・依頼・提供会員数 66人
活動実績 6,592件

児童青少年課

1 概要

放課後の児童の遊びや生活の場である学童保育所を運営するとともに、0 から 18 歳までの子どもの居場所である児童館を運営し、様々な体験活動等を行っている。

また、青少年健全育成に係る啓発活動、子ども会などの青少年団体への活動支援を通じて、次代を担う青少年の健全な育成を推進。

2 主な事業

(1) 学童保育所

- ・現在、高尾山学園と恩方第二小学校区を除く、68 小学校区の全てに設置。
- ・利用者は、市内の小学校 1～3 年生 (5, 297 人 (4 年生障害児含む)) (平成 26 年 4 月 1 日現在)

【入所申込者数と待機児童数】

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
申込者数	4, 835	4, 930	5, 060	5, 096	5, 328
増減 (対前年)	195	+95	+130	+36	+232
待機児童数	117	84	64	49	98
増減 (対前年)	64	△33	△20	△15	+49

(2) 児童館管理運営

- ・児童館 12 館 (うち分館 2 館)
- ・0～18 歳までのすべての子どもの居場所、子ども・保護者の相談場所
- ・中高生企画事業体験・乳幼児と保護者向けの活動 (手遊び・講座) も実施

【1 日の利用者数】 ※併設している学童保育所の利用者数を除く

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
人数	677	691	716	798	842

(3) 八王子市子どもすこやか宣言普及啓発事業

- ・「子ども意見発表会」実施

平成 25 年度から、より多くの子どもたちに身近な地域で意見表明の機会を提供するため、児童館 10 館で実施。3 月 21 日に報告会を開催。

【平成 25 年度実施内容等】

テーマ	子ども企画委員数	活動日数	報告会参加者数
「子どもが考えるまちづくり」	39	176	103

(4) 青少年健全育成にむけた環境整備 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

- ・青少年問題協議会による青少年施策の企画調整
- ・青少年対策地区委員会 37 地区の活動支援
- ・青少年育成指導員 221 名を委嘱

(5) 青少年団体の活動支援 (平成 25 年 6 月 1 日現在)

- ・子ども会 66 団体、ボーイ・ガールスカウト 12 団体等の活動支援

子ども家庭支援センター

1 概要

子ども家庭支援センター（クリエイトホール）を中核とし、5か所の地域子ども家庭支援センターが関係機関との連携により、市内全域における総合的な子育て支援を推進している。

児童虐待の通告窓口として、その対応や市民への虐待防止の啓発を行うほか、親子ふれあい広場・親子つどいの広場の運営や、子育て講座の開催、子育てサークルの支援も行っている。

2 主な事業

(1) 子ども家庭支援ネットワークの運営

- ・子育ての悩みに対する相談を行うとともに、児童相談所・医療機関など関係機関と「子ども家庭支援ネットワーク」を構築し、児童虐待の対応・予防を行う。

【平成 25 年度子ども家庭支援ネットワーク会議開催状況】

代表者会議 1 回・実務者会議 2 回・地域ブロック会議 5 回・関係者会議 286 回

【相談延べ件数】 相談件数は増加。

年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
件数 (件)	18,087	18,318	21,369	27,658

主な内訳：虐待・虐待が疑われるもの 36.2%、養育不安 34.1%、教育・しつけ 12.1%など

【児童虐待 受理数】 支援の対象として対応した児童数。

年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
児童数 (人)	262	288	321	387

(2) 子育て支援事業

- ・子育て講座の開催や子育てサークルの育成支援
- ・子育てボランティア「子育て応援団 Bee ネット」の育成支援
(平成 26 年 3 月 11 日現在・393 名)

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
人数	471	456	377	379	393

(3) 親子ふれあい広場・親子つどいの広場の運営

- ・市内 11 か所に、子育て相談ができ、子ども・親同士が交流できる広場を運営。

【親子ふれあい広場 延利用者数】

	クリエイト	館	石川	みなみ野	南大沢	元八王子	合計
23 年度	19,582	8,567	8,035	24,213	11,781	10,478	82,656
24 年度	21,152	9,508	7,546	23,207	14,991	8,916	85,320
25 年度	20,835	8,885	6,178	22,528	15,507	7,191	81,124

【親子つどいの広場 延利用者数】

※八日町：平成24年4月1日～10月24日 セレオ八王子：平成24年10月25日～現在

	夢きっず (八日町)	ゆめきっず (セレオ)	さんさん (西八)	パオパオ (檜原)	カシュカシュ (堀之内)	ことこと (大和田)	合計
23年度	13,697	-	9,352	5,663	11,308	8,368	48,388
24年度	8,113	19,666	9,608	4,845	11,610	10,278	64,120
25年度	-	29,278	9,382	5,159	12,075	8,210	64,104

IV 参考

合計特殊出生率の推移

年度	八王子市 出生数 (人)	合計特殊出生率		
		八王子市	東京都	全国
16年度	4,267	1.13	1.01	1.29
17年度	4,003	1.07	1.00	1.26
18年度	4,301	1.16	1.02	1.32
19年度	4,346	1.19	1.05	1.34
20年度	4,263	1.19	1.09	1.37
21年度	4,350	1.23	1.12	1.37
22年度	4,300	1.24	1.12	1.39
23年度	4,076	1.20	1.06	1.39
24年度	4,022	1.22	1.09	1.41
25年度	3,903	1.22	1.13	1.43

※東京都人口動態統計年報による。